

答 現在、本市において地籍調査は未着手である。防災の観点から、地籍調査が復旧・復興事業を迅速に実施できることにつながることは認識しており必要であると考えている。現在、実施に向け県と調整・協議を図っている。

問 熱中症対策の部分を含め、防災上、ウォータークーラーが学校にあればと思うが、設置に関しての考えは。

答 ウォータークーラーは冷たい生水を飲み過ぎてお腹を壊さないかと心配する保護者やタンク内にたまる水に雑菌が増殖しないか衛生面の問題を心配している声も聞くが設置に向け、今後研究したい。

問 乳児用液体ミルクの国内流通に向けて、厚生労働省が先月、規格基準を定めた改正省令を施行し、国内での製造・販売が解禁された。利点は、調乳作業が不要で、常温のまま保存容器から哺乳瓶に移しかえるだけで飲める。特に、清潔な水の確保が難しい災害時の備蓄として有効であるが今後の備蓄についての考えは。

答 賞味期限が1年間で、現時点では市の備蓄物資として

は期限が短い。今後、製品の改良等を見ながら検討していく。

高齢者肺炎球菌ワクチンの救済措置

問 高齢者肺炎球菌ワクチンの救済措置、定期接種の制度について説明してほしい。

答 肺炎を予防するため高齢者肺炎球菌ワクチンの定期予防接種が、予防接種法施行令等の一部改正により平成26年より開始され、本市においては、定期予防接種になる前の平成20年10月より、70歳以上の方を対象に肺炎球菌予防接種の費用助成をしている。救済措置は、対象であった期間に、特別な事情などで予防接種を受けることができなかったと認める者に、1年を経過する日までの間は、定期予防接種の対象としている。

問 平成26年度から29年度の定期接種対象者数と接種者数、接種比率は。

答 26年度対象者7,069名、予防接種者3,183名、接種率は45.0%。27年度対象者7,070名、接種者2,833名、接種率

40.1%。28年度対象者7,447名、接種者3,096名、接種率41.6%。29年度対象者8,068名、接種者3,466名、接種率43%となっている。

問 予防接種した方としなかった方で、どれぐらい保険料としての経済効果やこの効果があったのか。

答 予防接種を接種した場合と未接種の場合を比較して医療費を算出することは非常に難しい。しかし、未接種者よりも接種者の方が疾病にかかった場合でも、重症化を防ぐ効果があることを考えると、治療内容や治療期間も軽減されることから推測され、一定の医療費の削減につながるものではないかと考える。

問 予防接種部会ワクチン評価に関する小委員会の報告書で65歳の方全員がワクチン接種をした場合、医療費が1年当たり5,115億円相当の削減ができるかと報告されている。当市に当てはめれば年間約5億円の医療費削減ができる計算になる。接種できなかつた市民に対する対策は。

答 対象者全員に案内はがきを郵送しているが、今後も周

知を続けていく。

高齢者を対象にした肺炎球菌ワクチンの定期接種を実施しています。

肺炎球菌とは
肺炎球菌は主に気道の分泌物に含まれる細菌で、喉嚨などを通じて気道感染し、気管支炎や肺炎、脳膜炎などの重い感染症を引き起こすことがあります。
肺炎球菌は年齢とともに免疫機能が低下し、また、日常的に生きている成人の肺炎のうち約1～1.5割は肺炎球菌が原因と考えられています。

平成26年10月1日から定期接種になりました
平成24年10月1日から平成31年3月31日までの間に、生後65歳以上で定期接種の要件を満たす方は、肺炎球菌ワクチンの定期接種を1回受けることができます。定期接種の対象となる方は毎年異なるため、この機会を逃さないようご留意ください。



啓発チラシ



12月6日(木) 古代衣装着用 議会開催予定

日本書紀に「持統八年十二月の庚戌の朔乙卯(694年12月6日)に藤原宮に遷都された」との記述があることを受け、12月6日に古代衣装着用して本会議を開催します。「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録に向け、全世界にアピールしますので、ぜひ傍聴またはインターネット中継をご覧ください。

